

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【公開番号】特開2009-291253(P2009-291253A)

【公開日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-050

【出願番号】特願2008-145161(P2008-145161)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

A 6 1 B 3/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/14 E

A 6 1 B 3/12 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月1日(2011.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼眼底に向けて光を照射するための光源と、駆動機構によって光軸方向に移動可能に配置されたフォーカス用光学部材と、被検眼眼底からの反射光を受光する受光素子と、を備え、被検眼の眼底画像を撮影するための撮影光学系と、

前記駆動機構の駆動を制御すると共に、前記受光素子から出力される受光信号に基づいて被検眼の眼底画像を取得する制御手段と、を備え、

前記制御手段は、

前記フォーカス用光学部材を移動させ、複数の位置での画像を取得し、

複数の位置で取得された画像の輝度の度数分布をそれぞれ求め、該度数分布を用いて、前記光学部材の位置に対する所定の閾値以上の度数を持つ輝度値の変化特性を求め、

該変化特性に基づいて前記フォーカス用光学部材のフォーカス位置を求め、該フォーカス位置に対応する位置にフォーカス用光学部材を移動させることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項2】

請求項1の眼科撮影装置において、

前記撮影光学系は、被検眼の眼底正面画像を取得するための撮影光学系であって、

前記制御手段は、前記受光素子から出力される受光信号に基づいて眼底正面画像を取得し、該正面画像を微分処理し、微分処理された前記正面画像内の輝度の度数分布を求ることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項3】

請求項1の眼科撮影装置において、

前記撮影光学系は、前記光源から発せられた光を前記被検眼眼底上で走査させる光スキヤナーを有し、前記測定光による被検眼眼底からの反射光と参照光との干渉光を前記受光素子により受光し、被検眼の眼底断層画像を取得するための撮影光学系であって、

前記制御手段は、前記受光素子から出力される受光信号に基づいて眼底断層画像を取得し、前記断層画像内の輝度の度数分布を求ることを特徴とする眼科撮影装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1)

被検眼眼底に向けて光を照射するための光源と、駆動機構によって光軸方向に移動可能に配置されたフォーカス用光学部材と、被検眼眼底からの反射光を受光する受光素子と、を備え、被検眼の眼底画像を撮影するための撮影光学系と、

前記駆動機構の駆動を制御すると共に、前記受光素子から出力される受光信号に基づいて被検眼の眼底画像を取得する制御手段と、を備え、

前記制御手段は、

前記フォーカス用光学部材を移動させ、複数の位置での画像を取得し、  
複数の位置で取得された画像の輝度の度数分布をそれぞれ求め、該度数分布を用いて、  
前記光学部材の位置に対する所定の閾値以上の度数を持つ輝度値の変化特性を求め、

該変化特性に基づいて前記フォーカス用光学部材のフォーカス位置を求め、該フォーカス位置に対応する位置にフォーカス用光学部材を移動させることを特徴とする。

(2)

(1) の眼科撮影装置において、

前記撮影光学系は、被検眼の眼底正面画像を取得するための撮影光学系であって、  
前記制御手段は、前記受光素子から出力される受光信号に基づいて眼底正面画像を取得し、該正面画像を微分処理し、微分処理された前記正面画像内の輝度の度数分布を求める  
ことを特徴とする。

(3)

(1) の眼科撮影装置において、

前記撮影光学系は、前記光源から発せられた光を前記被検眼眼底上で走査させる光スキヤナーを有し、前記測定光による被検眼眼底からの反射光と参照光との干渉光を前記受光素子により受光し、被検眼の眼底断層画像を取得するための撮影光学系であって、

前記制御手段は、前記受光素子から出力される受光信号に基づいて眼底断層画像を取得し、前記断層画像内の輝度の度数分布を求める  
ことを特徴とする。